

1. 件 名：安全研究に活用する実機材貸与に関する意見交換
2. 日 時：令和2年7月6日(月)13時30分～14時30分
3. 場 所：原子力規制庁 16階C会議室（全出席者TV会議システムを利用）
4. 出席者

原子力規制庁長官官房技術基盤グループ

システム安全研究部門

小嶋主任技術研究調査官

河野主任技術研究調査官

橋倉技術研究調査官

北條技術研究調査官

渡辺技術研究調査官

船田技術参与

高倉技術参与

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構：2名

原子力エネルギー協議会：1名

中部電力株式会社：1名

関西電力株式会社：1名

四国電力株式会社：3名

九州電力株式会社：2名

5. 要旨

原子力規制庁（以下「規制庁」という。）が実施する安全研究プロジェクト「実機材等を活用した経年劣化評価・検証事業」（令和2年度から6年度予定）（以下「本研究」という。）においてPLRポンプケーシング及び監視試験片を使用した研究を実施するため、貸与を依頼した中部電力株式会社及び四国電力株式会社より、現在の状況について説明があった。

説明のあった貸与時期等を本研究計画に反映させるとともに、これまで規制庁と電気事業者間で協議してきた貸与依頼文書の記載内容について、引き続き協議することとなった。

6. その他

提出資料：

「中部電力株式会社 国への実機材研究へのサンプル提供 H-1 PLR ポンプケーシング供試材情報提供について」